

9月議会 総括質問（加藤 一 議員）

コロナ仮設病床の設置など対策は

市長「庄内病院は満床に近い 県・保健所・医師会に協力したい」

鶴岡市議会9月定例会が8月31日開会され、

日本共産党市議団を代表して加藤一議員が、

新型コロナ対策と人口減少、自然災害への対応、

その他重要施策の確実な推進について、総括質

問を行いました。

来月1月に示される

県納付金の動向を見極め、留保財源が安定的な基金の水準6億円を上回る場合は、改定の検討をする。



JCP鶴岡地区HP

市が地震被害支援拡充し法改正に

問 2019(令和元)

年6月18日のM6.7

の山形県沖地震では、

皆川市長は県と協調

し、住宅の一部損壊に

も適用し、工事費が30

万円以上に支援を導入

した。

これを受けて、国会

でも取り上げられ、国

では被災者生活再建支

援法が令和2年12月4

日改正された。

問 これまで全壊と大規

模半壊以上だった支援

対象に、中規模半壊(損

害割合30%台)が加え

られた画期的な改正だ

がどう考えるか。

市長 今回の法改正は

大きな前進ではある

が、適用条件の緩和ま

では至らず、条件緩和

や県独自の被災者生活

再建支援制度を国・県

にさらに求めていく。

ぐコミュニティスクールが重要だ。

教育の質を高め、教

育環境の充実を図る視

点が大事であり、地域

の実情を踏まえ検討し

ていく。

国保会計は黒字 減税すべき



問 国保は前榎本市
政下で平成28年度、1
人当たり2万1154
円の大幅な値上げがさ
れた。

国保は30年度、県と

の共同運営となり、皆

川市長は合併後初め

て、国保税を1人当た

り1万104円引き下

げた。

昨年12月には、1人

当たり5043円の引

き下げを提案したが、

国保の委員の反対があ

り、取り下げた。

共産党市議団は今年

3月議会に、国保税引

下げの条例改正を提案

したが、反対多数で否

決された。

令和2年度の決算で

は、4億1270万円

の黒字となり、財源留

保額は3年度の返還金

2億2704万円を除

いても22億7千万円も

あり、減税すべきだが

どうか。

市長 令和3年度国保

税の収納見込みは、想

定を1億円以上、上回

り、引き下げの財源は

確保できる。

市政の流れを逆戻りさせてはならない

問 前榎本市政下で、

自治体リストロが行わ

れ、旧町村の独自サー

ビスの廃止と市民の負

担増、職員削減で、旧

町村の行政力が大きく

低下した。

それを解決するため

に、皆川市長は地域ま

ちづくり未来基金を創

設した。

旧町村に対する地域

振興予算は、2400

万円から一気に2億円
台になった。

この流れを逆戻りさ

せてはならないが。

市長 地域の個性と自

主性を活かした自立分

散型のまちづくりを推

進している。

公約に旧町村の権限

と財源の移譲を掲げた

が、さらに必要な改善

や取り組みを進める。

学校統廃合によらず課題解決を

問 学校統廃合では、

前榎本市政下で小学校

を14校も一気に廃校に

した。

学校統廃合によら

ず、小規模な小学校の

課題を解決する手段が

検討されるべきではな

いか。

市長 コロナ禍におけ

る少人数学級の再評価

や、地域と学校をつな

さらに旧町村の育英
資金を移行するとし
た。

旧町村の制度は、明

治31(1898)年に

事業実施され、教育の

まちづくりとして、住

民が長く誇りをもって

いた制度だ。

旧町村にどう説明

し、理解を得たか。

市長 日本学生支援機

構の対応人数が大幅に

増え、同じ貸付条件の

育英資金は、令和元年

度と2年度が4人づ

つ、3年度は1人で少

ない。

昨年度末で約2億5

千万円ある基金の有効

活用について、各地域

振興懇談会で説明し理

解を得た。

(2面につづく)

皆川市長が合併後
初めて国保引き下げ

仮設病床が必要な場合
は、県や庄内保健所、
医師会に協力してい
きたい。

今後、仮設病床の設
置などの対策は検討さ
れないか。

市長 コロナ病床を確
保している庄内病院で
も満床に近い状態だ。
現在の状況を超え、

問 国保税は前榎本市

政下で平成28年度、1

人当たり2万1154

円の大幅な値上げがさ

れた。

国保は30年度、県と

の共同運営となり、皆

川市長は合併後初め

て、国保税を1人当た

り1万104円引き下

げた。

昨年12月には、1人

当たり5043円の引

き下げを提案したが、

国保の委員の反対があ

り、取り下げた。

共産党市議団は今年

3月議会に、国保税引

下げの条例改正を提案

したが、反対多数で否

決された。

令和2年度の決算で

は、4億1270万円

の黒字となり、財源留

公共事業の地元発注の考えは

問 昨年9月議会で、風力発電ガイドラインの改正による規制区域の設定を求め、皆川市長は今年1月改正し、保全区域を設定した。

今年3月までに、外資系企業が新たに天狗森国有林で風況調査をおこなったと聞く。

再エネ導入をどう考えるか。

市長 再生可能エネルギーの導入には、地域住民との合意のもと、自然環境や景観、歴史文化等との調和を図りながら進めることが重要だ。

問 前榎本市政下での文化会館建設事業は、大手ゼネコン発注で100億円規模に膨らみ、市民の批判が高まった。

ごみ焼却施設整備でも、平成29年12月に大手ゼネコンに発注した。

皆川市長は、地元合意を解決したごみ最終処分場建設の大型事業で、大手ゼネコン発注ではなく、地元企業による建設工事共同企業体(JV)に発注した。

公共事業の地元発注の考えを聞きたい。
市長 大荒の最終処分場は総工費が40億円を超える大規模工事であり、浸水処理施設も特殊なものが含まれる。他の自治体は大手業者に発注している事例が多いが、市内業者のJVに発注した。
令和元年度の多目的

運動施設や、本庁舎耐震補強工事、3年度の先端研F棟の増築工事

核廃絶と平和都市宣言の実行は

問 昨年12月議会で、核兵器禁止条約について市民に向けメッセージを求めた。

核兵器廃絶と平和都市宣言のさらなる実行の考えを伺いたい。

市長 本年1月の核兵器禁止条約の発効、鶴岡市平和都市宣言10周年を迎え、平和と文化の構築は私たちの責任だという重みが増して

問 皆川市長はこの4年間、議会の行政チェックというより、政争の具にした攻撃的な質問によく耐えてきたと思う。

対話を重視し、市民

など大型事業は、市内業者で、JVなど複数の業者が受注できるように配慮した。

地元業者が力を発揮することで、地域経済の振興に寄与できる。

いる。

8月9日の「鶴岡市平和の集い・資料展」では、戦争の悲惨さと平和の大切さを、次の世代に継承していくことが重要だ。

平和都市宣言に基づき、今後も戦争の惨禍を二度と繰り返さない、平和の大切さを訴えていく。

憲法と地方自治の立場に立つか

問 党を掲げる市長の考えを聞きたい。

市長 住民に最も身近な市町村行政に、政党間の争いを持ち込む必要はないと考えている。

問 新自由主義の政権が、その立場に立つのか、それとも憲法と地方自治の立場に立つのか、鋭く問われるが。



市議会においても互いに敬意を払い、できるだけ歩み寄って合意に努力し、市政を前進させることが重要だ。

継続審査となっていて、中小企業振興条例についても、全ての関係者が地域経済の発展につながる合意ができるよう願っている。

問 新型コロナウイルスのパンデミックで、行き過ぎた自然環境破壊、公衆衛生と医療の崩壊、非正規など不安定な雇用の破壊、税の不正、貧困と格差の拡大など、新自由主義の破綻は誰の目にも明らかになった。

問 皆川市長の「なんじの道」は、様々な関係者の意見をまとめていくのは非常に難しい仕事であるが、批判する声や反対する声も受け止めていく。

SDGs未来都市として、多様性が発揮される鶴岡市を目指していきたい。

朝日庁舎総務企画課入札結果 () 内は予定価格

8月26日入札分
・旧大泉鉱山寿岡堆積場耐震対策地質調査業務(大鳥地内)(入札15業者うち1業者辞退)
基礎地盤コンサルタンツ(株)山形支店 11,330,000円(13,024,000円) 期間~4/1/31(落札率87.00%)

建築課入札結果 () 内は予定価格

8月26日入札分
・旧消防署藤島分署解体工事(藤島字笹花51-1、52-38ほか)(入札10業者うち6業者辞退、1業者無効)
(株)佐藤組 13,000,000円(13,320,000円) 工期~4/1/14(落札率97.60%)
・先端研究産業支援センター駐車場整備工事(覚岸寺字水上246番地2)(入札4業者うち1業者辞退)
株式会社マルゴ 13,600,000円(13,760,000) 工期~10/29(落札率98.84%)

土木課入札結果 () 内は予定価格

8月26日入札分
・谷定6号線道路改良工事(谷定地内)(入札7業者)
(株)菅興業 7,500,000円(7,765,000円) 工期~4/1/14(落札率96.59%)
・市道水沢2号線道路改良工事(水沢地内)(入札9業者うち2業者欠席)
(株)諏訪建設 8,200,000円(8,554,000円) 工期~4/1/28(落札率95.86%)
・工業団地錦町大泉橋線(泉町工区)道路改良工事(泉町地内)(入札2業者)
笠原建設工業(株) 22,000,000円(22,332,000円) 工期~4/3/18(落札率98.51%)

下水道課入札結果 () 内は予定価格

8月27日入札分
・市公共下水道事業 汚水11094~119号路面復旧工事(高坂地内)(入札4業者)
(株)佐藤渡辺鶴岡営業所 38,300,000円(39,094,000円) 工期~12/17(落札率97.97%)

水道課入札結果 () 内は予定価格

8月25日入札分
・鶴岡地域監視装置無停電電源装置更新工事(のぞみ町地内)(随意契約)NECプラットフォームズ(株)東日本支社 1,690,000円(1,769,000円) 工期~4/2/28(落札率95.53%)
・文園町地内径100耗配水管更新工事(債務負担行為)(文園町地内)(入札6業者うち1業者辞退)
青山工管(株) 68,200,000円(69,610,000円) 工期~4/11/30(落札率97.97%)
・本町二丁目地内径200耗配水管更新工事(本町二丁目地内)(入札7業者)
松田工業(株) 51,500,000円(52,560,000円) 工期~4/3/18(落札率97.98%)